

まなべ「熱中時代」

元気と夢を育む真鍋小学校

令和4年5月31日
土浦市立真鍋小学校

文責 酒井 宏之



間もなく6月 梅雨入り そして3日は創立記念日 145周年

間もなく6月に入り、梅雨の時期がやってきます。雨が降ると、外で元気に遊ぶ子供たちが見られず、少し寂しい感じがします。でも、教室に行くとい生懸命勉強している姿が見られます。また、休み時間には、読書をしたり、友達や先生と楽しそうに会話したりしている様子も見受けられます。さて、6月3日(金)は真鍋小学校の創立記念日です。そこで、真鍋小学校の歴史を振り返ってみたいと思います。



明治10年6月、西真鍋長松院に「真鍋学校」として創立され、創立記念日は6月3日とされました。そこから数えて今年で創立145年になります。明治40年2月、現在の地に校舎を新築移転となりました。同時期に桜苗木も植樹されました。それが真鍋小学校のシンボル、校庭の真ん中にある5本の「真鍋の桜」です。樹齢は115年になり、県の天然記念物に指定されています。「真鍋の桜」は、真鍋小学校とともに歴史を刻んできました。卒業生総数1万2千有余名。たくさんの卒業生や地域の皆様に支えられ歩んできた、正に歴史と伝統の学校です。創立記念日を機に真鍋小学校に関心をもっていただけたとうれしく思います。

スポーツフェスティバル 大変よくできました



5月30日(月)、「スポーツフェスティバル」が行われました。低・中・高学年ごとに実施され、各学年の種目は徒競走と団体種目です。どの学年も徒競走では懸命に走り、団体種目ではクラスが団結し、大きな声で応援する姿が見られました。そして、5・6年生が合同で行った「真鍋ソーラン」は本当に見事でした。5年生は今年が初めての「真鍋ソーラン」でしたが、これまで一生懸命練習し、今日はとても上手にできました。そして6年生は真っ赤な衣装を身につけ、掛け声が学校中に響き渡りました。その迫力のある「真鍋ソーラン」は、見ている人たちに感動を与えてくれました。きっと6年生の心に刻まれたことと思います。

保護者の皆様には、狭い運動場で入れ替え制等の制約を設けさせていただき、ご不便をおかけ致しました。お陰様で、滞りなく無事終えることができました。ご協力に改めて感謝申し上げます。

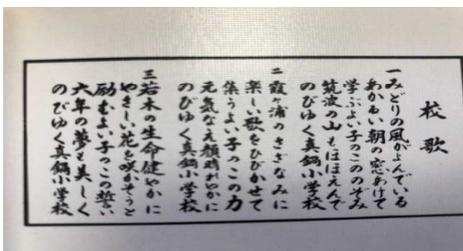
PTA奉仕作業

ありがとうございました



5月21日(土)にPTA奉仕作業が行われました。今回の奉仕作業は昨年度同様に、PTA本部役員、2・4・6年生の学年委員・整備委員・成人委員の役員の皆様と教職員の参加となりました。草刈り、側溝、トイレ掃除等を中心に実施していただきました。普段できないところをきれいにしていただき、とても感謝しております。ありがとうございました。

真鍋小学校 校歌の由来



(作詞)
河西 新太郎

(作曲)
中島 健

真鍋小学校の校歌は、昭和32年、創立80周年を記念して作られました。作成にあたって、歌詞は広く一般から公募することになったそうです。そこで、新聞を活用して応募者を呼びかけ、応募は、真鍋地区はもちろん、遠くは近畿、四国、九州等々、全国から86篇もあつたそうです。その中から、四国高松市の「河西新太郎」さんの作品が採用になりました。また、作曲は土浦市東真鍋居住の高校の音楽の先生だった「中島健」さんに依頼されたそうです。最近、コロナ禍のため全校合唱ができませんが、早くみんなで歌える日が来ることを願っています。

校章「なでしこ」の由来 (大正8年制定)



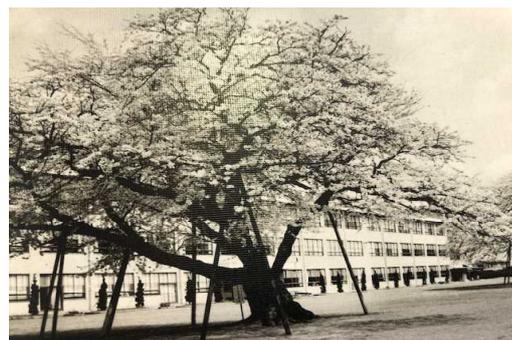
淡紅色優美な外見と、広く山野に自生するたくましさを持った花であるということと、子どもを「よい子よい子」と頭をなでていとおしむ動作が「なでるこ」から「なでしこ」となったという説があるようです。

校長室より 創立145周年に想う

私が真鍋小学校を卒業した年は、昭和49年度(昭和50年)でした。今思えば、創立98周年だったようです。当時自分たちが過ごした校舎は右の写真にあるような3階建ての白い校舎でした。永久校舎と言われていましたが、老朽化に伴い、現在の校舎に建て替えられました。児童数は千人を超え、各学年5クラス位あったと思います。教室には40人を超える子供たちがいました。当時は体育館やプールもなく、雨の日は楽しみにしている体育はできませんでした。水泳の授業は二中まで歩いて行き泳いだ記憶があります。また、四号館という木造の古い講堂が残っており、そこで卒業式や入学式は行われました。今の東館前の登り棒付近には、野球のバックネットがあり、放課後になるとみんなで暗くなるまで野球をやっていたことが楽しい思い出として残っています。

真鍋小学校が「真鍋の桜」と共に、永久に存続していくことを願い、創立記念日を迎えたいと思います。

真鍋小学校創立145周年。おめでとうございます。



旧真鍋小校舎(昭和49年度)

※ 裏面に真鍋小学校の歴史を載せておきました。ぜひ、ご覧になってください。

真鍋小学校の歴史



明治	6年		木田余学舎創立
	10年	6月	真鍋学校創立 (西真鍋・長松院にて開校) ※創立記念日 6月3日
	15年	4月	真鍋小学校と改称
	20年	1月	真鍋尋常小学校と改称
	22年		真鍋町の誕生
	25年	10月	真鍋尋常高等小学校と改称
	40年	1月	現在地に新校舎落成・移転 桜苗木植樹
大正	8年	2月	校章制定(なでしこ図案化)
昭和	15年	11月	土浦町・真鍋町が対等合併 「土浦市」誕生
	16年	4月	真鍋国民学校と改称
	22年	4月	土浦市立真鍋小学校と改称
	32年	1月	「真鍋の桜」県天然記念物に指定
		11月	桜保存委員会発足
	39年	3月	創立80周年 校歌制定
	50年	8月	鉄筋3階建校舎完成
	52年	3月	プール完成
	52年	3月	創立100周年記念式典
	54年	10月	体育館竣工
平成	17年	5月	新校舎(現在の校舎)竣工
	19年	12月	創立130周年記念式典
			桜保存委員会復活 桜100歳
	29年	4月	施設分離型小中一貫校となる
		11月	創立140周年記念式典
令和	4年	6月	創立145周年 桜115歳